

(仮称) 大磯駅周辺安全安心・にぎわい創出計画 (案)

第1回検討会議 会議録

1. 日 時 平成29年7月27日(木) 15:00から17:00まで
2. 場 所 大磯町役場 保健センター2階研修室
3. 出席者 委 員 18名(欠席2名) ※出席者について別紙参照
事務局 7名
傍聴人 11名
4. 議 題
協議事項
(1) 検討会議について
(2) 計画地の現況と課題
(3) 町民参加のあり方について
5. 議事経過
I. 開会
事務局) 大磯駅周辺は、自転車動線の変化や、小学生の通学路であることから、安全安心の対策が必要である。
町は、旧吉田茂邸を再建、一般公開したところ、多くの方々の来訪があり、大磯港では、今後、大磯港賑わい交流施設の整備を進めていく。ほかにも、町は、観光による魅力作りを進めていることから、来訪者の交通手段や滞留空間の確保が必要。
このように、大磯駅周辺は、安全安心の向上、来訪者を受け入れる玄関口としての機能増進が必要であり、課題に取り組むため、大磯駅周辺の整備、まちづくりのための事業に着手した。今年度は、事業の計画案を作成する。課題解決に向けて委員の皆様から専門的な知見をご教示いただきたい。
- II. 検討会議 ○:質問者 ◎:答弁者
【議題(1)検討会議について】
(1)-1. 検討会議の会則
 - ・ ランズ計画が資料-1を説明
 - ・ (仮称)大磯駅周辺安全安心・賑わい創出計画(案)検討会議会則(案)が承認された。

(1)-2. 構成員の紹介

- ・ 大磯町が検討会議構成員を紹介。会長、副会長を選出。

会長) 交通工学を専攻しているが、多少なりともお役に立てればと思う。大磯町は歴史、文化、自然に恵まれたうらやましい町である。住みやすく、かつ魅力のある駅周りの計画に関われることは光栄である。より良い議論ができるよう進行役を務める。

副会長) 建築計画、都市計画を専攻しており、人を集める・賑わいを作ることをテーマに研究している。大磯には学生を連れてお邪魔しているが、改めて色々な魅力があると感じており、それぞれの魅力をつなげることができたらと思っている。良い議論と計画ができると素敵だと思う。

〈傍聴者の入場〉 ※傍聴者 11 名

(1)-3. 事業の基本的考え方等

- ・ 大磯町が資料-1 差替え資料により説明

(1)-4. 検討会議の目的等

- ・ ランズ計画が資料-1 により説明

○委員) 駐輪場横の山(築山部分)は検討エリアに含まれるのか?

◎事務局) 具体的な計画は、駅前をメインとし、築山部分は今回の検討に含めない。バス、タクシーのエリアと駐輪場跡地を検討していく。

【議題(2)計画地の現況と課題】

- ・ ランズ計画が資料-2 により説明

〈資料の構成について〉

○会長) 理解しやすくなるよう、説明順序を整理すること。町の都市マスタープラン等の話のストーリーに従ってまとめると、わかりやすいと思う。

〈回遊や交流ポイントについて〉

○副会長) 駅前からみなとオアシスへのアクセスは、さざんか通りが歩きやすい。県道大磯停車場線のルートは高低差がある上に、みなとオアシスエリアまで距離がある。どちらの通りを歩かせたいのか?

また、駅を降りるとステパノ学園の緑が目に入り、その中に澤田美喜記念館がある。一般の人は入れないが、協力いただければ回遊ポイントとして魅力的である。さざんか通りをうまく利用し、島崎藤村の墓があるお寺など魅力的な施設と繋げると良い。

◎事務局) みなとへのアクセスは、県道は歩道が狭く、また大磯小学校に続く町道幹線12号は、歩道が片側しかない。さざんか通りは常時一方通行であり交通量が少なく、み

などへのアクセスにおいて重要な路線と考えている。

- 副会長) 交番、観光案内所、駐輪場跡地付近をどう使っていくか？駐輪場跡地は交流のポイントとなりそうである。
- ◎事務局) 現時点、利用方法は決まっていない。民間所有のビルもあり、所有者との協議も必要となる。そういった点を考慮しながら、次回検討会議で提案したい。
- ◎会長) 駐輪場跡地について資料-2の51ページの課題の12番に「東側駐輪場跡地計画と共に滞留スペースを検討する。」という考え方が示されている。これから具体的に検討していくのかと考える。

〈駅前等景観づくりについて〉

- 委員) 駅前的美観・景観の印象だけを感じられると、実際の大磯と少し違う。大磯は小道を少し入ったところに風情がある。美観・景観の例として、小田原駅は江戸時代の屋敷群というグランドビジョンを掲げて整備している。大磯はどういう美観・景観をつくるのか、駅前のグランドデザインをどうするか、方針をはっきりさせることが必要。大磯の祭りが再現されるとか、粋なものを感じられるなど、駅を出てすぐに大磯の魅力を感じられるような取組みをお願いしたい。
- ◎会長) 本日の話は交通に関する話が多いが、美観・景観を含む全体的なイメージ、コンセプトの話も必要である。
- 委員) 駐輪場跡地の活用方法によって、人の流れがガラッと変わる。検討事項として優先したい。吉田邸ができて観光案内所付近の人の流れが多くなった。建物か何か新たにできるのであれば、また人の流れが多くなるので、それに対応する整備が必要となる。

みなとへ向かう通りとして、さざんか通りは近いし一番良いが、その先の整備が不十分なので、検討していただきたい。また、さざんか通りの先の整備が完了した際には、みなとまでの案内板が必要となる。今、町で来年再来年に整備する予定でいると思うが、駅前と案内板の整備をリンクさせていきたい。
- ◎会長) 駐輪場跡地の活用法を本検討会議でどこまで想定できるか疑問である。想定はするが、具体的な議論までは及ばないかもしれないので、今後の検討とさせていただくこともあると思う。
- 委員) 町政100周年で整備した駅前のロータリー、また、駅前カフェのファサードのデザインがある。さらに、木下家別邸も含めた建物群の雰囲気、イメージを駐輪場跡地に取り入れてはどうか？三井守之助邸という建物の残っている部材を活用して景観の流れをつくり、駐輪場跡地も含め、ロータリーや駅前カフェのファサードなどと何かしら共通できる空間があることで、大磯の顔になるのではないかと。
- ◎会長) 建物群のイメージから出る連続性を大切にしたいということや歴史的リソースがあれば活用していきたいと理解した。
- 副会長) 駅は圧倒的に人が交流するスペースなので拠点として重要。その場所で6,000㎡をどう使うかはとても大切である。景観計画に基づき美しくつくるのも大切だが、

中に何を入れるかである。大磯の魅力、歴史、ある一時代に政治の中心であったこと、吉田茂を始め多くの首相が交流していた記憶を呼び起こすものであって、かといって人がやたらと集まって賑やかにするだけでなく、風格のあるものを考えるのがよいのではないか？風格がある空間と、人の流れという交通のバランスを考えることが大切である。

◎会長) この点は、第2回検討会以降の議論のポイントとなる。

〈安全安心について〉

○委員) 来客者も大切だが、住民視点の安全安心、静けさを基本として欲しい。特に県道の狭さに対する安全対策を議論して欲しい。

◎会長) 拡幅できれば望ましいが、県道の幅員を拡幅できない場合、ソフト対策も検討し、車利用者に我慢してもらふ施策も講じなければならないかもしれない。人と車のバランスをどう取るか。住民視点の安全安心については、これからも検討していきたい。

〈議論のまとめ〉

会長) 今の議論をまとめると、

- ・ 駅前全体のランドデザインをどうしていくかを検討する。
- ・ 駐輪場跡地の活用が重要ポイントとなる。
- ・ 大磯らしさに加え、住民の安全安心、住みやすさも大切にする。

以上である。

【議題(3)町民参加のあり方について】

- ・ 大磯町が資料-3により説明

○委員) アンケート対象者とは具体的に誰を想定しているのか？

◎事務局) 駅前広場に訪れた人にアンケートを配布する。

○委員) 無差別に配布するのか？

◎事務局) 無差別に配布する。

○会長) アンケート内容は、多くの人の目で考えた方が良い。意向調査項目は、設問・選択肢について検討が必要である。

○委員) 例えば、一時預かり所、観光案内所、買い物品を置きたいとか、ニーズの部分の選択肢をもう少し整理したらどうか。子どもやサラリーマン、住民を想定して。

○委員) 想定回収数はどれくらいか？

◎事務局) まだ決めていないが、駅利用者数から目標回収数を算出したい。

○会長) 天気によって回答の影響が変わるので、どういう日にどういう人を対象とするか検討していただきたい。回答を分類したとき、バリエーションが出て一定のサンプル数が確保できると良い。

◎事務局) 今後精査する。アンケートに関する意見があれば8月10日までに事務局に連

絡をもらいたい。

○会長) パブコメについて本日は検討しないが、町民の意見を聞くために実施することでご了解いただきたい。

〈議論のまとめ〉

会長) 今の議論をまとめると、

- ・アンケートの項目等は、より精査していただく。
- ・アンケートに関する意見があれば、事務局まで連絡する。

以上である。

【議題(4)まとめ】

会長) 本日の議論をまとめると、

- ・事業の考え方、エリア、目的について、ご理解いただいた。
- ・大磯町駅前広場の歴史、経緯、関連する既存計画等について確認いただいた。
- ・計画地の現況調査と課題整理については、ご意見をいただいたので今後検討する。

以上である。

このような全体の議論は、本日ような検討会議で行うとして、この検討会議の下に作業部会を設置するのはどうか？どのような部会を設けるか、事務局案があれば紹介いただきたい。

◎事務局) 資料1(差替え分)の1-3-2ページの水色四角内が事務局の考えている部会案である。加えて、景観の専門家、建物の所有者等の部会について検討が必要と考える。

①交通・道路管理部会…大磯警察署、平塚土木事務所、大磯町建設課

②交通事業者部会…神奈川中央交通株式会社、伊豆箱根交通株式会社、株式会社プリンスホテル、東日本旅客鉄道株式会社

③地元関係者部会…大磯町商工会、観光協会等

○委員) 事務局提案は、管理する側からの一方通行で、ユーザー意見がない。部会には利用者(町民)の意見を取り入れるべきではないか？

◎会長) 利用者意見を伺う機会は、この検討会議や他にもある。部会で検討された案がそのまま最終的に検討会議の案になるというのではなく検討会議でも議論されるので、そういった意味では、利用者の意見は反映されるが、部会でも専門家の意見を聞きながら、可能な範囲で、利用者の意見も重要であると認識して必要に応じて意見を聞いて欲しい。また、想定している部会以外に、必要に応じて部会を作って検討していくのは良いことであると思うので、その中で検討して、検討会議に案を提案していただきたい。

〈議論のまとめ〉

会長) 今の議論をまとめると、

・部会のメンバーは、会則のとおり会長に一任いただき、決めさせていただく。
以上である。

Ⅲ. その他

〈その他〉

- 委員) この会議の進め方について、検討手段の話ばかりではなく、目的を見失わないように要望する。将来像の共通認識を持った上で、部会に臨んでいくのが良いと思う。
- ◎会長) 駅前のランドデザインの基本コンセプトは今後の検討会で詰めていきたい。
- 委員) この計画の区域は、みなとから駅までだが、北下町、南下町が入っていない。大磯みなとまちづくり協議会で意見をまとめて出せば良いか？
- ◎会長) 事務局が個別に意見を聞くのではないかと理解しているが、どうか。
- ◎事務局) 区長さんとお話をさせていただき、地元意見をどう取り上げらるか調整する。

〈次回〉

- ・ 第2回検討会：9月下旬開催、日時は別途調整する。
- ・ 作業部会：8月下旬開催予定、日時は別途調整する。

— 以上 —

— 別紙 —

種 別	名 称	氏名	出欠	備考
学識経験者等	交通工学（国立大学法人東京工業大学 環境・社会理工学院 土木・環境工学 系 教授 工学博士）	朝倉 康夫	○	会長
	集客学、集客空間論（東京都市大学 都市生活学部都市生活学科 教授、都 市生活学部学部長 工学博士）	川口 和英	○	副会長
地元関係者	北本町町内会	出縄 政美	○	
	南本町町内会	中村 雅一	○	
	茶屋町町内会	鈴木 豊男子	○	
	神明町町内会	岩崎 英二	○	
	公益社団法人大磯町観光協会	柳田 昌巳	○	
	大磯町商工会	伊藤 廣孝	○	
	NPO 法人大磯ガイドボランティア協 会	浅見 和男	○	
	大磯港みなとまちづくり協議会	山口 明宏	○	
	大磯市実行委員会	富山 昇	○	
行政関係機関	神奈川県警 大磯警察署	伊澤 浩明	○	
	神奈川県 県土整備局 平塚土木事務 所 工務部 道路維持課	五十嵐 敬	○	
	神奈川県 県土整備局 平塚土木事務 所 計画建築部 まちづくり推進課	向井 潤一郎	○	
	大磯町 都市建設部	笹山 隆二	○	
	大磯町 政策担当参事	森田 敏幾	欠	
オブザーバー （駅前広場利 用事業者）	東日本旅客鉄道株式会社 横浜支社 総務部 企画室	大野 正幸	○	（代理出席）
	神奈川中央交通株式会社 運輸計画部 計画課	露木 輝久	欠	
	伊豆箱根交通株式会社大磯営業所	木村 充宏	○	
	株式会社プリンスホテル 大磯・鎌倉 地区	伊丹 信一郎	○	
事務局	(株)ランズ計画研究所	3名	○	
	大磯町 参与（まちづくり）	芝原 靖典	○	
	大磯町 都市建設部 都市計画課	小瀬村 昭 福田 勉 高塚 健太郎	○ ○ ○	